

「仮の町」を集中型、分散型で整備する際のメリット・デメリットについて（例示）

集中型による整備 双葉町民がどこか1カ所にまとまって住むことができる町を整備する		検討の視点	分散型による整備 双葉町民が住む災害公営住宅をある自治体（自治体も複数）の中に分散して整備する	
メリット	デメリット		メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> 医療、福祉、商業施設などを集約して整備できる 	<ul style="list-style-type: none"> 受入自治体の理解が課題 一団の広い土地の確保が困難なおそれ 整備が長期化するおそれ 将来的に限界集落化の懸念 	<p>【町の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 受入自治体との調整 土地の確保 土地の造成・施設建設の時間 町として必要な機能の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 受入自治体の理解が容易 土地の確保が比較的容易 整備が早く進む期待 	<ul style="list-style-type: none"> 双葉町独自の施設整備は難しくなる
<ul style="list-style-type: none"> 役場が1カ所であるため、人員配置を効率できる 役場からの情報提供・周知が効率的にできる 	<ul style="list-style-type: none"> 「仮の町」以外の人への行政サービス（情報提供）の低下 	<p>【役場機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 役場組織の配置 行政サービスの効率性 		<ul style="list-style-type: none"> 役場の支所を設置する必要が生じるため、効率が低下する 役場からの情報提供・周知が行き届かないおそれ
<ul style="list-style-type: none"> 子供が集まれば双葉町の学校の再開が容易となる 	<ul style="list-style-type: none"> そもそも子供が集まるかどうかの懸念 	<p>【学校の再開】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒が集まるかどうか 		<ul style="list-style-type: none"> 小中学校の再開が困難となる
<ul style="list-style-type: none"> 旧来の商売の再開が容易となる 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事に限定される 	<p>【仕事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 顧客の確保 仕事の種類 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事の選択の場が広がる 	<ul style="list-style-type: none"> 旧来の商売の再開は難しい
<ul style="list-style-type: none"> 双葉町の一体性が確保できる これまでの町民のコミュニティを再開できる 	<ul style="list-style-type: none"> 町民の居住地選択が限定される 受入自治体の住民との軋轢が生じる懸念 	<p>【町民のコミュニティ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町民の選択肢 双葉町の一体性の確保 コミュニティの再興 受入自治体の住民との関係 	<ul style="list-style-type: none"> 町民の居住地選択の幅が広がる 小規模な新たなコミュニティが形成できる 受入自治体住民との新たなコミュニティが期待される 	<ul style="list-style-type: none"> 町民の双葉町離れが懸念 これまでの町民のコミュニケーションはとりづらくなる
<ul style="list-style-type: none"> 双葉町の伝統文化の継承が容易となる（管理を含めて） 		<p>【伝統文化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝統文化の継承 	<ul style="list-style-type: none"> 避難先と融合した新たな伝統文化を生む余地 	<ul style="list-style-type: none"> 民俗芸能の構成員分断による伝統芸能の廃絶が懸念